

▼低分子デキストラン糖注 [注]

【重要度】★★ 【一般製剤名】ブドウ糖加デキストラン 40 dextran40/glucose 【分類】血流改善剤

【単位】▼500mL [デキストラン 10%, ブドウ糖 5%]

【常用量】1回 500mL [最初の 24 時間の投与量は 20mL/kg 以下]

【用法】点滴静注■長期連用を避けること（できるだけ短期間にとどめ、5 日以内とする；長期連用すると腎臓、肝臓、脾臓に蓄積し、乏尿などをきたすことがある）

【透析患者への投与方法】250mL を週 2 回まで（0.075～0.125g/kg）（Klin Wshr 53: 523-7, 1975）

【その他の報告】凝固系を抑制して出血傾向を促進するおそれがあることに留意し、長期連用を避けること（できるだけ短期間にとどめ、5 日以内とする）（1）週 3 回 4 年間使用して多臓器にデキストランの沈着を認めた HD 患者の 1 例（滝 知彦, 他: 透析会誌 44: S395, 2011）

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要はないが腎障害が悪化する恐れがあるため慎重投与（1）

【特徴】デキストラン 40 を 50g とブドウ糖 25g を加えた注射液。赤血球凝集を解離し、血液粘度を低下させ、末梢循環を改善し、血栓を予防する。血漿増量剤として末梢血行を改善する。線溶系を活性化させ、血栓予防、溶解作用を示す。

【主な副作用・毒性】ショック、急性腎不全、過敏症、出血傾向、悪心、嘔吐など

【Cmax】250mL 投与時の血中デキストラン 40 濃度の Cmax は 312.3mg/dL [24hr 後に 28.7mg/dL]（1）

【代謝】肝臓、脾臓、腎臓にデキストランを分解する酵素が存在（1）生体内に残存するデキストランは徐々にブドウ糖に分解される（1）

【排泄】尿中回収率 60% [3hr まで]、77% [24hr まで]（1）

【CL】資料なし（1）

【t1/2】約 3hr（1）

【蛋白結合率】資料なし（1）

【Vd】資料なし（1）

【MW】平均 40000

【透析性】分子量が大きいため透析で除去されない（Klin. Wshr 53: 523-527, 1975）資料なし（1）

【備考】投与期間は 5 日以内とする。アミノ配糖体系抗生物質の併用は不可【腎毒性の増強】。保存中の温度変化による局部的濃縮のため、まれに不溶性デキストランを析出することがある（使用不可）。血液型判定又は交叉試験を妨害することがある。

【更新日】20151130

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。